

20年のG3レース開幕戦

立川競輪場開設68周年記念「鳳凰賞典レース」はKEIRIN G3グランプリ2019の余韻が冷めやらぬ1月4日〜7日に開催される。今シリーズは平原康多、清水裕友、郡司浩平のS班3名をはじめ、諸橋愛、吉田拓矢、古性優作、和田健太郎、村上義弘ら各地区から強豪がそろい、年頭を飾るにふさわしい豪華メンバー。20年のG3レース開幕戦を制して好スタートを切るの果たして誰なのか。また、最終日第6レースにてS級ブロックセブンが一発勝負で行われる。こちらも注目だ。

20年のG3レース開幕戦。S班3名が参戦する好メンバーで、勝ち上がり戦から白熱した戦いが繰り広げられよう。グランプリ2019の結



清水裕友



平原康多



郡司浩平

果次第では多少評価が変わることも考えられるが、最も充実しているのは清水裕友だ。19年はG1大会で4回決勝に進出。残念ながらVには手が届かなかったものの、ダービーと競輪祭は準V、寛仁親王牌3着、高松宮記念杯4着と常に主役級の走りを披露している。グランプリ前までの19年の獲得賞金ランキングは第3位。19年は飛躍を遂げた1年となったが、立川記念Vからのスタートだった。20年は更なる高みを目指すべく、当

所記念連覇を達成して波に乗るか。このところ優参が多く、競輪祭でも②③④④着と素晴らしい伸びを見せた柏野智典が清水を援護する。12月佐世保記念では①③⑤着と優参するなど、落車負傷の影響がなくなってきたレース巧者の小倉竜二、直近の12月大宮を①②着と自力攻撃が冴え渡る島川将貴の徳島勢も侮れず、今節の中四国勢は強大な勢力だ。

素晴らしかった。鎖骨骨折の欠場明けながらオールスターで決勝に乗ると、8月小田原記念、共同通信社杯を連覇。その後も素晴らしい動きで賞金を積み重ね、初のグランプリ出場権をゲットした。競輪祭で落車した影響もない模様で、俊敏な走りでも20年は最高のスタートを決める場面も大いにあろう。19年は10月京王閣記念を含み5Vと素晴らしい成績を残した和田健太郎が郡司とタッグを組む。両者は京王閣記念の準決でワンツーを決めている。

古性優作、村上義弘の近畿勢も好勝負が期待できる勢力だ。両者は12月佐世保記念の準決で連係ワンツーしたのが記憶に新しい。勝負どころで前に出た古性が逃げた太田竜に飛び付くと、3番手から村上が突き抜けた。古性の攻撃的な自在戦が奏功ならその再現は大いにありうる。

注目株は藤根俊貴だ。ビッグレースではまだ結果を出せていないが、経験は大きなプラスになっているはず。将来性豊かな自力型だけに、短期間で進化を遂げている可能性もある。

主力メンバー		※2019年12月20日現在	
吉田拓矢	清水裕友	古性優作	郡司浩平
柏野智典	和田健太郎	平原康多	諸橋愛
村上義弘	村上天	直近12場所成績	

立川記念 出場予定選手			
級班	氏名	登録地	競走得点
SS	平原康多	埼玉	87期 117.52
S1	郡司浩平	神奈川	99期 117.04
S2	有賀高士	石川	61期 91.83
S2	西谷岳文	京都	93期 93.00

※2019年12月20日現在のデータです。